

第4章 重点プロジェクト

1. 位置づけ

本計画に位置づける5つの基本目標に沿った取組の方向性や事業の中には、本市の現状や社会動向等を踏まえて特に重視すべきものや、計画の取組全体の底上げを図るうえで重点的に取り組むべきものがあります。

そこで、本市が目指す環境像を実現するために、全庁的な推進体制のもとで優先的に取り組んでいくべき主要な施策・事業を重点プロジェクトとして位置づけます。

2. 設定の視点

重点プロジェクトは、以下の視点で設定します。

◆ 鳥取市版「地域循環共生圏」を具現化する

本計画は、「地域循環共生圏」の視点に基づき、豊かな自然や水辺、農村環境、再生可能エネルギーの可能性等の資源を活かしつつ、経済、地域社会等の諸課題の同時解決と新たな成長を目指すものとしています。

そこで、「地域循環共生圏」を具現化するうえで、高い効果をもたらすことが期待できる事業を重点プロジェクトとします。

◆ 異なる分野へ相乗的な効果を発揮する

地球規模から身近な生活の環境の問題が複雑化する中、各基本目標を実現するための様々な取組を一つの施策パッケージとして総合的に進めていくことによって、分野横断的な視点で目標を同時に達成し、限られた計画期間内における相乗的な効果の発揮できる事業を重点プロジェクトとします。

◆ 確実かつ早期に実施する

本市が自ら主導することで取組の確実な進捗管理と成果の可視化ができ、当初の5年間で早期に取り組むことができる事業を重点プロジェクトとします。

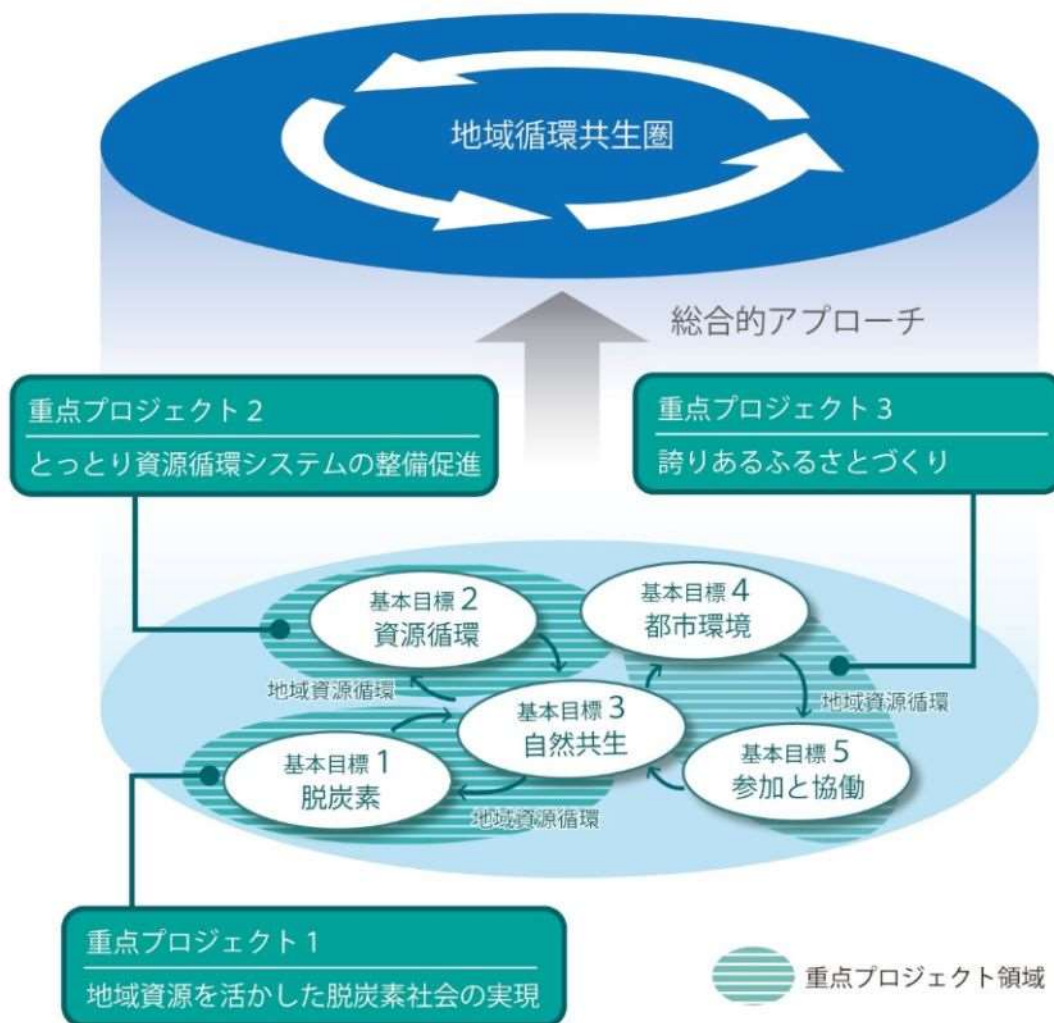
◆ 地域の環境・社会・経済にも貢献する

環境だけでなく、産業、福祉、防災、教育等、分野を横断して便益をもたらす、課題解決に繋がる事業を重点プロジェクトとします。

3. 重点プロジェクト

「重点プロジェクト」を推進することで、各基本目標の分野が相互に連携し合い、地域資源が活用され、循環する地域社会の実現を目指します。

- 「地域循環共生圏」の具現化に向けた重点プロジェクト（イメージ）



【重点プロジェクト1：地域資源を活かした脱炭素社会の実現】

■概要

太陽光・風力・バイオマス等の再生可能エネルギーの活用は、地域の気候・自然条件等に左右されるとともに、土地の確保や周辺住民への影響回避等の観点から、実際の導入ポテンシャルは都市圏よりも地方圏で高くなります。

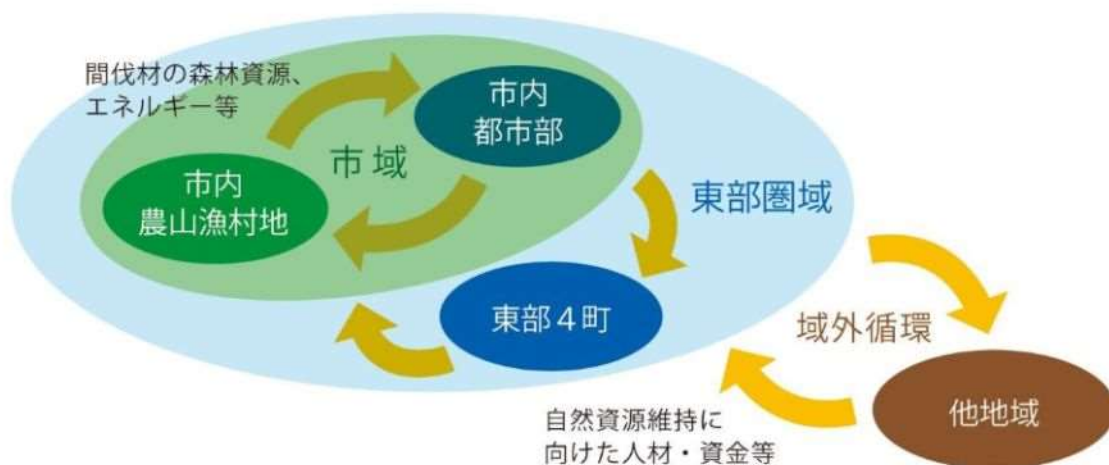
本市では、再生可能エネルギーの導入拡大と、それらの活用によるエネルギーの地産地消に取り組みます。同時に、市域内の連携による持続可能な森林管理を進めることでカーボンオフセットを行い、木材等の地域資源の循環利用に寄与します。

これらの取組により、地域循環共生圏と脱炭素社会の一体的な構築を目指します。

■施策パッケージ

基本目標	施策	事業
基本目標 1	再生可能エネルギーの利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ● エネルギーの地産地消促進 ● 太陽光発電システムをはじめとする再生可能エネルギー設備の設置促進
	環境ビジネスなどの創出支援	<ul style="list-style-type: none"> ● バイオマス資源のエネルギーとしての利活用の推進 ● ビジネス化を図るための実証事業、設備導入に係る経費への支援
基本目標 3	山林の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 間伐や適切な植林管理等森林整備の促進 ● 森林保全の推進

■ 目指す地域の姿（イメージ）



【重点プロジェクト2：とっとり資源循環システムの整備促進】

■概要

天然資源の消費を抑制し、再生材や再生可能資源の利用を進めることにより、上流から下流までのライフサイクル（資源確保、生産、流通、使用、再使用、再資源化、廃棄等の全ての段階）にわたり、資源が効率的かつ持続的に使われる社会を実現する必要があります。

本市では、市民・事業者・市が一体となって、廃棄物の排出抑制、再利用の促進、ごみを少なくする習慣やシステムづくりをはじめ、ライフサイクルにわたる包括的な対策により、多様な生活環境における資源循環システムを整備します。また、空家・空地を適正に管理・活用するとともに、環境との調和のとれた循環型農業等、持続性の高い農業生産活動により環境負荷の低減を目指します。

■施策パッケージ

基本目標	施策	事業
基本目標 2	リフューズ・リデュース・リユース施策の継続的な展開	● 家庭における生ごみの堆肥化の普及推進
	事業者との連携によるリデュース・リユースの推進	● 土壌中の微生物によって分解される農業資材（生分解性マルチ）の推進
	リサイクルの推進	<ul style="list-style-type: none"> ● ごみの分別の徹底 ● 環境への負荷が少ない製品の購入や利用の推進 ● 使用済小型電子機器等の分別収集による資源の有効利用の推進 ● 畜産農家と稲作農家の連携による堆肥利用や飼料生産を一貫して行う循環型農業の促進
基本目標 3	農地の保全	● 日本型直接支払制度を活用した農業生産活動（農地、農業施設の保全管理と農地の遊休化、耕作放棄地化の防止）の推進
基本目標 4	景観・美観の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 空地の適正管理の推進 ● 空家の適正管理の推進

■ 目指す地域の姿（イメージ）



【重点プロジェクト3：誇りあるふるさとづくり】

■概要

本市は、鳥取砂丘をはじめとする全国に誇れる豊かな自然環境を有し、海や山はもちろん、独自の歴史や文化が根づく、地域資源にあふれたまちです。

これらの資源は市民全体の誇りであり、自立した地域づくりを進める中で、さらに市民が夢と希望をもてる魅力的なまちを作るためにも、磨き上げていかなければならないものです。

市民に郷土（ふるさと）に誇りを持ってもらえるよう、また、本市を訪れる観光客等に魅力を感じてもらえるよう、豊かな自然や魅力ある歴史・文化等地域資源の活用や農業体験、イベント、物産販売等を通じた、自信と誇りに満ちた活力のある地域づくりを推進します。

■施策パッケージ

基本目標	施策	事業
基本目標 3	農地の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 農山村の地域資源を活かしたグリーンツーリズムの推進 ● 特産品の販売促進
	自然とのふれあいの場の整備	<ul style="list-style-type: none"> ● 親しみのある川づくりの推進 ● 貴重な自然とのふれあいの場の保全
	自然とのふれあい機会の創出	<ul style="list-style-type: none"> ● 中山間地域住民との交流促進 ● 農産物生産の体験機会の設置
基本目標 4	景観・美観の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 鳥取砂丘の景観の保全 ● 地域の環境美化活動の促進
	歴史・文化的環境の保全	<ul style="list-style-type: none"> ● 物産品の磨き上げや掘り起こしの推進 ● 自然・文化遺産の保存・伝承
基本目標 5	学習の場や機会の提供	<ul style="list-style-type: none"> ● 自然や文化に直接ふれる体験活動の実施

■ 目指す地域の姿（イメージ）

